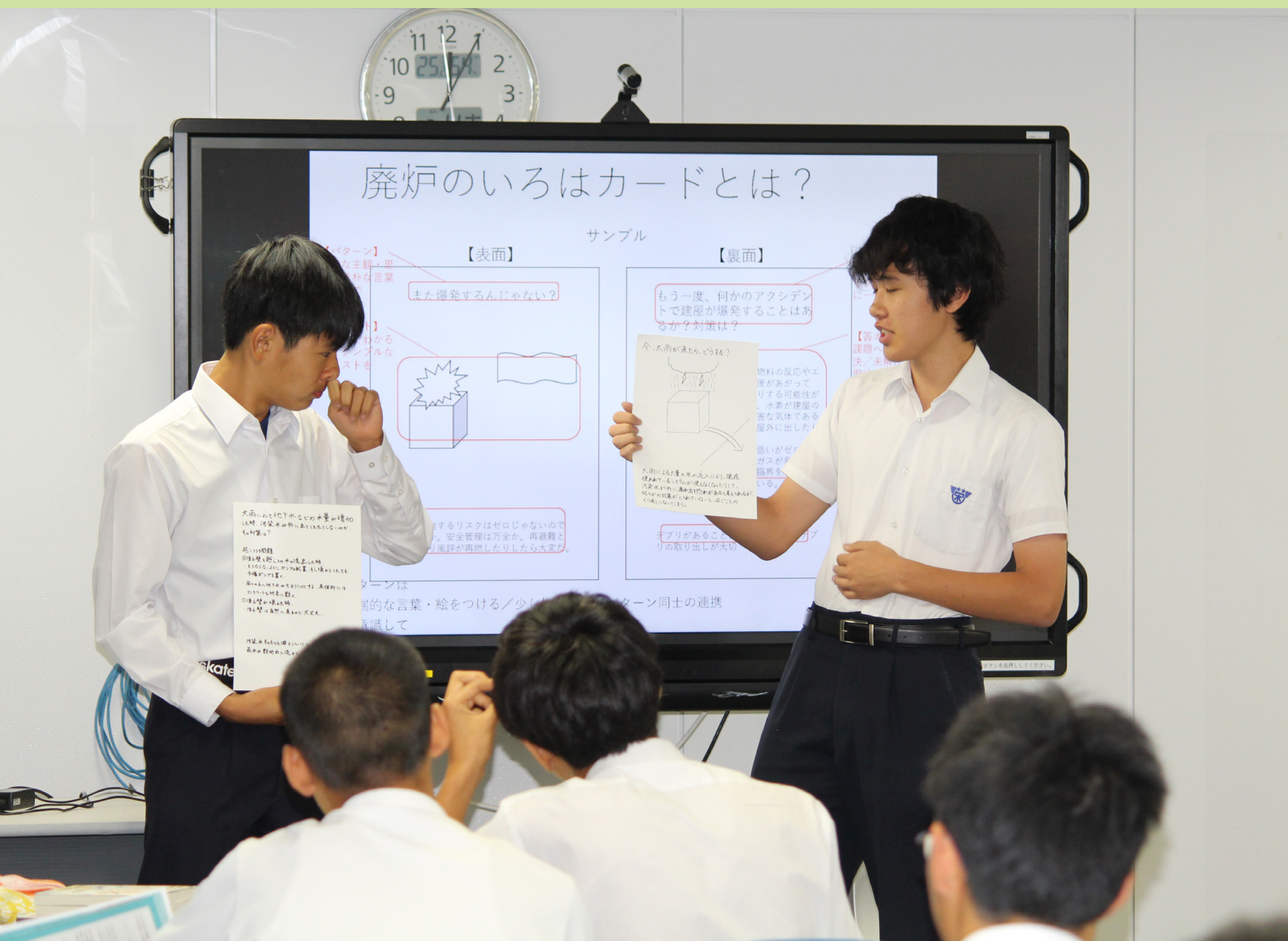
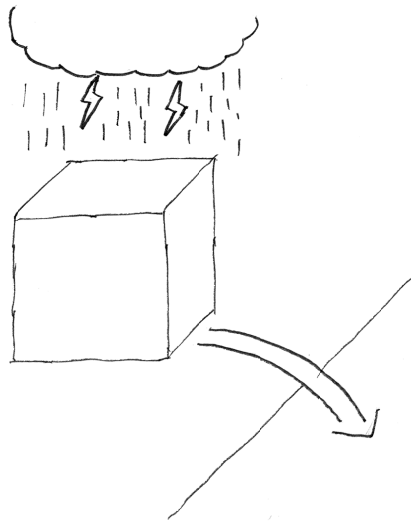




令和元年 7 月 11 日 (木)

おもて

今、大雨が来たら、どうする？



大雨による大量の水の流入により、現在使われているシステムが使えなくなったりして、汚染水が外に漏れ出す恐れがあると考えられるが、何らかの対策がとられていないと、同じことのくり返しになってしまう。

うら

大雨によって地下水などの水量が増加した時、汚染水が外に出てしまったりしないのか、その対策は？

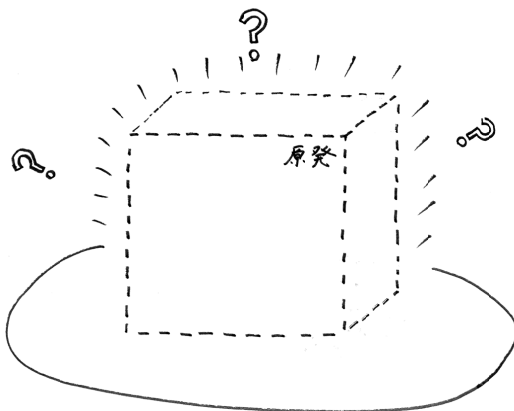
起こりうる問題

- ①凍土壁を越えての水の流出した時、
 - ・どうかなないようにポンプの配置、もし壊れていても予備ポンプを置く。
 - ・周りの土に地下水がたまりにくくする。具体的にはコンクリートで地表に敷く。
- ②凍土壁が壊れた時、
 - ・凍土壁は自然に戻るのだから大丈夫。

汚染水をもっと減らしていくことが大切。
雨水が敷地内に流れてくることを防ぐ。

おもて

廃炉後 現地をどうするか？



廃炉が完了した後 その土地はどのように利用するか？ その土地周辺の人々が就ける産業を整えるのか？ また、その産業を行うにあたって風評の影響をどうするか？

うら

原子炉・中間貯蔵施設の跡地を
どう利用するか？

利用方法

・原子炉跡

研究施設 - 心理的に風評が風化するまで跡地に訪れるのは考え難いが、研究施設にすれば環境を利用することが出来る。

・中間貯蔵施設跡

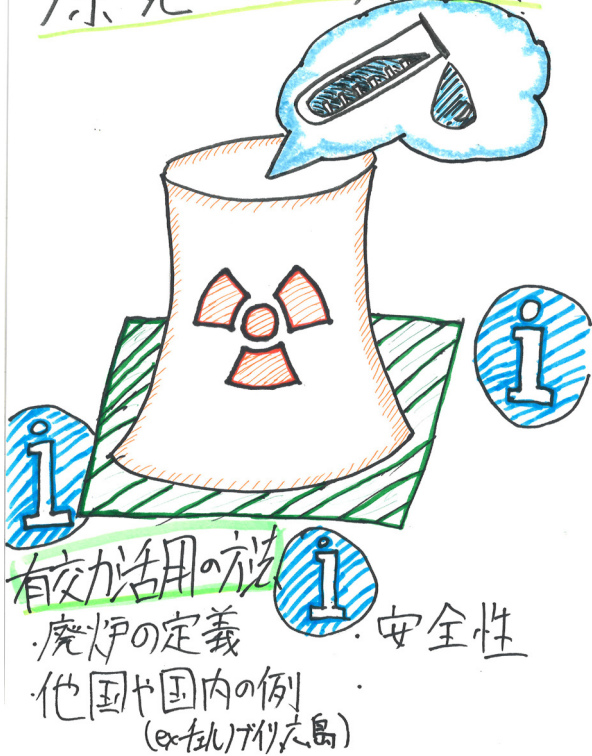
資料館や記念公園

- 事故の記憶を後世に受け継ぐことが出来る。

人の偏見による嫌悪感を取り除くのは難しい。いかに安全性をアピールし人が訪れる環境にしてゆくかが大切。

おもて

原発どうするの？



うら

廃炉後の原発の有効活用はできないのか？

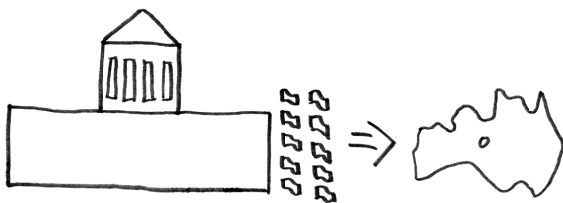
案は大きく分けて2つ

- ・ 1つ目はそのままの状態では研究室として利用する
 - ・ 宇宙などで使う半導体
 - ・ 植物への影響
- ・ 2つ目はデブリなどの危険物質を取り除き、観光地化を目指す
 - ・ チェルノブイリは観光地化できている
 - ・ この事故を知らない世代に伝えることができていない(修学旅行)
 - ・ 原発を中心とした周辺地域の活性化

人々・世論を納得させる必要がある
 → 大きな力を持つマスコミの力

おもて

お金はどのくらいかかるの？



お金の使い道はなんなのか。
 このお金はどこからでているのか。
 減らす方法はないのか。

うら

廃炉自体にかかる金額とその内訳は？

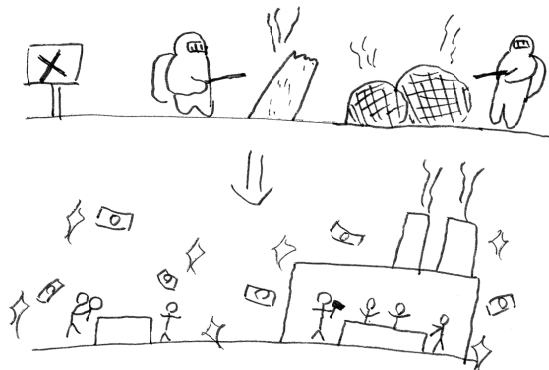
内訳は大きく5つ (2019年度)

- 1) 開発費
年間約 100 億円
- 2) 維持費
年間 440 億円
- 3) 人件費
年間 300 億円
- 4) 汚染水対策
年間 480 億円
- 5) フール燃料・燃料デブリ
年間 370 億円

東電は約 2000 億円の負担
 国は 100 億円の負担である

おもて

廃炉が終わった後の雇用



避難指示が解除された地域では
産業が縮小しているのではない。
廃炉雇用が無くなったら作業員た
らの仕事は？
廃炉以外の仕事がないと人も戻
らないのではない。

うら

廃炉が終わった後の作業員の
雇用はどうなる？

雇用先を確保する方法は大きく2つ

1. 廃炉に関わり培った技術を活用し
様々な場所で活躍する。
1-1 汚染水対策で培った土木技術を活用する。
1-2 燃料取り出し・解体・片付けで培ったロ
ボット製作技術を活用する。
2. 廃炉後の土地に原子力に関する研究所
を造り、そこで働く。
・廃炉作業の中で発達した交通網を活かせる。

廃炉で培った技術を活かした雇用を生み出す
ことができると先が明るい



